

おおいがわてつどう えんせん (かなや・ごか)

## 大井川鐵道沿線(金谷・五和)地域

### 奥大井(おくおおい)への玄関口 ～大井川の恵みが体感できる景観～



①雄大な「大井川」などの自然を眺められる  
牧之原公園



②「緑茶と農産物をテーマとした賑わい  
交流拠点」周辺



③四季折々の景色の中をSLが走る  
「大井川鐵道」

【所在地】 島田市竹下、横岡新田、金谷東二丁目、金谷 他

【エリア面積】378.7ha

【施設】賑わい交流拠点「KADODE OOIGAWA」、新金谷駅、牧之原公園ほか

【アクセス】大井川鐵道 五和駅から徒歩15分

### 【地形】

大井川が誕生したのは約1,800万年前です。その後、何度となく隆起を繰り返し、約10万年前に牧之原台地を作り、流路を変え、現在の場所に留まりました。

### 【歴史】

江戸時代、対象エリアの南側が東海道の宿場町として栄えました。「新金谷駅」は、1926年～1927年に建築され、2018年に国の有形文化財として文化財登録原簿に登録されました。戦前に建築された地方鉄道の様相を伝える洋風建築で、昭和の懐かしさを感じる建物です。

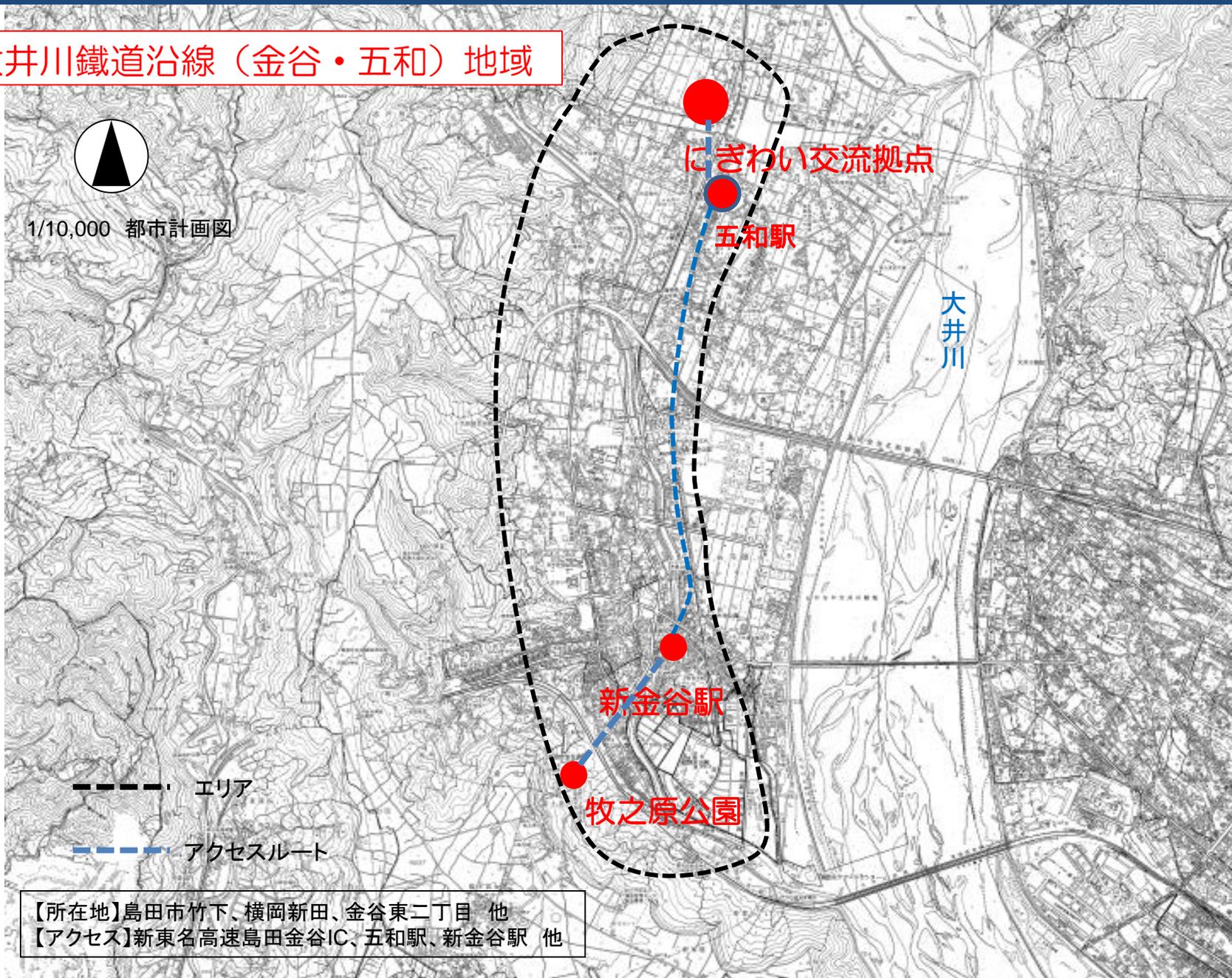
### 【観光】

牧之原公園からは茶園、大井川、富士山を同時に眺めることができ、雄大な自然景観が楽しめます。賑わい交流拠点「KADODE OOIGAWA」は、大井川農業協同組合、島田市、大井川鐵道(株)、中日本高速道路(株)の4者連携により新東名高速道路の島田金谷IC付近に整備された、周辺地域の観光の拠点です。

# 大井川鉄道沿線(金谷・五和)地域位置図



大井川鐵道沿線（金谷・五和）地域



## ①雄大な「大井川」などの自然を眺められる牧之原公園

## (1)景観

## 雄大な大井川の眺望



大井川が誕生したのは約1,800万年前です。その後、何度となく隆起を繰り返し、約10万年前に牧之原台地を作り、流路を変え、現在の場所に留まりました。また、南アルプスの赤石山脈など3,000m級の山々に源流を持ち、大小の支流を合わせながら160km余を流下し駿河湾へ注いでいます。

牧之原公園からは茶園、大井川、富士山を同時に眺めることができ、雄大な自然景観が楽しめます。

この魅力的な景観を多くの人が満喫するために、眺望地点からの眺めを阻害しないように、周辺への適切な配慮が必要です。

## ②「緑茶と農産物をテーマとした賑わい交流拠点」周辺

## (1)観光

## 緑茶と農産物の体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」



賑わい交流拠点「KADODE OOIGAWA」は、大井川農業協同組合、島田市、大井川鐵道(株)、中日本高速道路(株)の4者連携により新東名高速道路の島田金谷IC付近に整備され、周辺地域の観光の拠点として、農業・地域・観光振興や地域ブランド力の強化が期待されます。

施設では、周辺の景観に配慮した樹木や屋外広告物、建築物等の整備が必要です。

## 奥大井の魅力を発信し観光で稼ぐ拠点

施設の敷地内には大井川流域の観光案内所として「大井川流域観光拠点（仮）」を設置します。

ここでは、周辺地域だけでなく奥大井を含む大井川流域の観光情報を発信し、来客への観光案内や地場製品の販売、特産品である茶の提供などを行う観光で稼ぐ拠点とします。

周辺地域及び奥大井の魅力を発信する場として、無機質な建物や工作物の設置は避けるなど、四季折々の自然を活かした景観づくりが必要です。

## &lt;景観形成の主な課題&gt;

・視界を遮る看板や樹木、自然景観の魅力を低下させている建物や工作物の修景

## SLが隣を走るレストラン



施設内のレストランには大井川鐵道大井川本線が隣接しており、新たなホームが設置される計画があります。レストランの横をSLが走るため、SLの走る姿を間近に見ながら食事ができます。

施設内にSLを展示する計画もあり、SLが走っていない時も展示されたSLを眺めながら食事ができます。このため、SLが単なる移動手段ではなく、景観の一部を構成するような空間の創出が必要です。

### ③四季折々の景色の中をSLが走る「大井川鐵道」

#### (1)歴史

#### 登録有形文化財「新金谷駅」



「新金谷駅」は、1926年～1927年に建築され、2018年に国の有形文化財として文化財登録原簿に登録されました。戦前に建築された地方鉄道の様相を伝える洋風建築で、昭和の懐かしさを感じる建物です。

建築後90年以上経った今も駅舎として利用されており、毎年多くの観光客を奥大井方面へ送りだしています。このため、この歴史的資源を活かした景観づくりが必要です。

#### (2)観光

#### SL・きかんしゃトーマス号



大井川鐵道は、地域住民の足として通勤、通学等に利用されるほか、SLやきかんしゃトーマス号などの観光列車が走り、多くの観光客が利用します。日本で唯一ほぼ毎日機関車を走らせ、子どもから大人まで多くの人に人気があります。

また、SLフェスタや季節のイベントも開催され、期間中はさらに多くの人でにぎわいます。

幅広い世代、海外の観光客など多くの人々が、SLの雄姿を快適に眺められる景観の魅力向上させる取組が必要です。

#### <景観形成の主な課題>

- ・歴史的資源を活かした景観づくりが必要
- ・眺望を妨げる花木の手入れなど魅力的な沿線の景観づくりが必要

## 奥大井(おくおおい)への玄関口 ～大井川の恵みが体感できる景観～

### 【地域景観ミーティングの視点】

- ・「奥大井の玄関口」であることが感じられる景観形成
- ・周辺で農業体験ができるなど、親しみやすい自然と調和した体験型施設等の整備
- ・景観に配慮した散策道や新たな視点場(休憩所・ベンチ)の整備
- ・写真撮影時におけるスポットの設置
- ・歴史資源の魅力を引出す景観形成
- ・眺望を妨げている花木の手入れなど、魅力的な大井川鉄道沿線の景観づくり
- ・景観に配慮した駐車場・トイレ等の整備

### 目標 1

大井川流域の  
自然を感じる  
景観づくり



### 目標 2

食と農を体験して  
人々で賑わう  
景観づくり



### 目標 3

歴史を感じ  
SLを眺めたくなる  
景観づくり



### 景観づくり方針

- ① 雄大な大井川、茶園、富士山を快適に眺める景観づくり

### 景観づくり方針

- ① 地元の食・農・観光を知り何度も訪れたい景観づくり
- ② 地域住民と観光客が賑わいを創出し憩いと活力を感じる景観づくり

### 景観づくり方針

- ① 駅舎の歴史を感じる景観づくり
- ② SLを眺めたい景観づくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標1 大井川流域の自然を感じる景観づくり

方針1-① 雄大な大井川、茶園、富士山を快適に眺める景観づくり

	取組み	実施主体
短期	①屋外広告物の景観誘導 ②景観環境に配慮した視点場の整備 ③自然景観と調和したガードレール等の色彩配慮 【屋外広告物やサイン設置の際には眺望を遮らない】	●市、事業者 ●市、事業者 ●市、事業者
中・長期	④大井川との調和に配慮した建築物の修景 ⑤サイン案内板等の統一とルールづくり	●市、事業者 ●市、事業者

## 目標2 食と農を体験して人々で賑わう景観づくり

### 方針2-① 地元の食・農・観光を知り何度も訪れたいくなる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	⑥景観に配慮した観光案内所の整備 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとなっていない】	●市、事業者
中・長期	⑦景観に配慮した親しみやすい体験型施設等の整備 (遊休地等の利用を含む)	●市、事業者、住民

### 方針2-② 地域住民と観光客が賑わいを創出し憩いと活力を感じる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	⑧自然と調和した休憩スペースの設置 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとなっていない】	●市、事業者
中・長期	⑨景観に配慮した散策道や新たな視点場（休憩所・ベンチ）の整備 ⑩景観に配慮した駐車場・トイレ等の整備	●市、事業者 ●市、事業者

## 目標3 歴史を感じSLを眺めたくなる景観づくり

### 方針3-① 駅舎の歴史を感じる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	⑪屋外広告物の景観誘導 ⑫景観に配慮した休憩施設の整備 【屋外広告物やサイン設置の際には眺望を遮らない】 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとなっていない】	●市、事業者 ●市、事業者
中・長期	⑬歴史資源の魅力を引出す景観形成 ⑭写真撮影時におけるスポットの設置 ⑮イベント時の景観への配慮	●市、事業者 ●市、事業者 ●市、関係団体

### 方針3-② 季節ごと来てSLを眺めてもらえる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	⑯眺望を妨げている花木の手入れなど魅力的な沿線の景観づくり 【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】	●市、事業者、住民
中・長期	⑰鉄道沿線の柵や電柱、電線、鉄塔等の修景 ⑱大井川流域の自然景観の保全	●市、事業者 ●市、住民

## 対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短期	⑱屋外広告物の景観誘導	●市、県土木事務所
中・長期	⑳道路付帯施設などの良好な景観形成	●市、県土木事務所

